

耐火物製造業 資料目次

資料目次

岡山県最低賃金基礎調査結果報告書（令和3年度）……………	P 1
（耐火物製造業）	
耐火物製造業最低賃金……………	P 15
① 岡山県最低賃金と特定最低賃金との比較	
② 耐火物製造業最賃と県最賃の年度別比較	
法人企業景気予測調査（令和3年9月13日）……………	P 19
「岡山財務事務所」	

岡山県最低賃金基礎調査結果報告書 (令和3年度)

〈耐火物製造業〉

I 令和3年度 最低賃金基礎調査実施要領

1 調査の趣旨

本調査は、岡山県耐火物製造業最低賃金改正決定等の審議のための基礎資料を得ることを目的とし、岡山県内における当該最低賃金の対象となる賃金労働者の賃金実態を明らかにしようとするものである。

2 調査の範囲

(1) 地域

岡山県全域

(2) 産業

日本標準産業分類に定める産業のうち、耐火物製造業

3 調査事業所

前記2に掲げる産業に属し、100人未満の労働者を雇用する民営事業所のうちから、一定の方法により抽出された事業所

4 調査労働者

前記3の調査事業所のうち、30人未満の労働者を雇用する事業所については、雇用されるすべての労働者、30～100人未満の労働者を雇用する事業所については、雇用される労働者の2分の1

5 調査事項

令和3年6月分の所定内賃金等

6 集計

調査結果を母集団に復元して集計した。

集計調査事業所数	25	社
集計調査労働者数	441	人
復元母集団労働者数	870	人

II 最低賃金基礎調査による現行最低賃金未満率

(単位 %)

区 分	産 業 別 (男女別)	最低賃金未満率
現 行 額 (924円)	男	0 (1.3)
	女	0 (2.5)
	合 計	0 (1.5)

() 内は前年度

III 最低賃金基礎調査における特性値一覧表

(単位 円)

項 目	産 業 別	岡 山 県 合 計
月 平 均 賃 金 額		275,413 (269,308)
時 間 当 たり 平 均 賃 金 額		1,669 (1,660)
第 1 ・ 2 0 分 位 数		1,083 (1,059)
第 1 ・ 1 0 分 位 数		1,197 (1,168)
第 1 ・ 4 分 位 数		1,354 (1,346)
中 位 数		1,628 (1,592)

() 内は前年度

03年
 総括表(1) (産業・就業形態別の資金額階級別、規模別、地域別、年齢別表)
 総括表(1)

産業：(全て)10府人物製造業 就業形態：(全て)

産別適用除外除く

時間当り所定内資金額 (3手当て除く)	合計	規模別					全県	地域別					年齢別				
		1~9人	10~29人	30~99人	100人以上	不明		17歳以下	18~19歳	20~54歳	55~59歳	60~64歳	65歳以上				
計	870	86	162	622	870	870	8	706	80	76							
913																	
914																	
915																	
916																	
917																	
918																	
919																	
920																	
921																	
922																	
923																	
924																	
925																	
926																	
927																	
928																	
929																	
930																	
931																	
932																	
933																	
934																	
935																	
936																	
937																	
938																	
939																	

970	970	2	(0.3)	2	(0.4)	2	(0.3)	2	(0.3)											2	(0.3)
		2	(0.3)	2	(0.4)	2	(0.3)	2	(0.3)											2	(0.3)
		2	(0.3)	2	(0.4)	2	(0.3)	2	(0.3)											2	(0.3)
		2	(0.3)	2	(0.4)	2	(0.3)	2	(0.3)											2	(0.3)
		2	(0.3)	2	(0.4)	2	(0.3)	2	(0.3)											2	(0.3)
		2	(0.3)	2	(0.4)	2	(0.3)	2	(0.3)											2	(0.3)
		2	(0.3)	2	(0.4)	2	(0.3)	2	(0.3)											2	(0.3)
		2	(0.3)	2	(0.4)	2	(0.3)	2	(0.3)											2	(0.3)
989	989	8	(0.3)	8	(0.4)	8	(0.3)	8	(0.3)											8	(0.3)
		8	(0.9)	8	(1.1)	8	(0.9)	8	(0.9)											8	(1.1)
		8	(0.9)	8	(1.1)	8	(0.9)	8	(0.9)											8	(1.1)
		20	(2.3)	20	(2.3)	20	(1.1)	20	(2.3)											20	(2.3)
		20	(2.3)	20	(2.3)	20	(1.1)	20	(2.3)											20	(2.3)
		23	(2.6)	23	(1.1)	23	(1.1)	23	(2.6)											23	(2.6)
		2	(2.6)	2	(2.5)	2	(1.5)	2	(2.6)											2	(2.6)
		2	(2.6)	2	(2.5)	2	(1.1)	2	(2.6)											2	(2.6)
		35	(4.0)	35	(2.5)	35	(2.9)	35	(4.0)											35	(4.0)
		40	(4.6)	40	(2.5)	40	(4.0)	40	(4.6)											40	(4.6)
		43	(4.9)	43	(3.8)	43	(4.6)	43	(4.9)											43	(4.9)
		48	(5.6)	48	(4.1)	48	(4.9)	48	(5.6)											48	(5.6)
		53	(6.1)	53	(5.1)	53	(4.8)	53	(6.1)											53	(6.1)
		91	(10.4)	91	(6.1)	91	(6.1)	91	(10.4)											91	(10.4)
		168	(19.3)	168	(11.4)	168	(10.0)	168	(19.3)											168	(19.3)
		257	(29.6)	257	(20.3)	257	(18.6)	257	(29.6)											257	(29.6)
		328	(40.5)	328	(30.4)	328	(28.6)	328	(40.5)											328	(40.5)
		86	(37.8)	86	(40.5)	86	(37.1)	86	(37.8)											86	(37.8)
		870	(100.0)	870	(100.0)	870	(100.0)	870	(100.0)											870	(100.0)
1500	1500	275,413	(0.3)	275,413	(0.4)	275,413	(0.3)	275,413	(0.3)											275,413	(0.3)
		1,669		1,669		1,669		1,669												1,669	
		1,655		1,655		1,655		1,655												1,655	
		1,085		1,085		1,085		1,085												1,085	
		1,127		1,127		1,127		1,127												1,127	
		1,354		1,354		1,354		1,354												1,354	
		1,596		1,596		1,596		1,596												1,596	
		0.1523		0.1523		0.1523		0.1523												0.1523	
		0.1653		0.1653		0.1653		0.1653												0.1653	
		0.1653		0.1653		0.1653		0.1653												0.1653	

【下段】

累積時数

【上段】

累積時数

Table with multiple columns and rows, containing faint text that is mostly illegible due to low contrast and fading. The table appears to have approximately 10 columns and 20 rows.

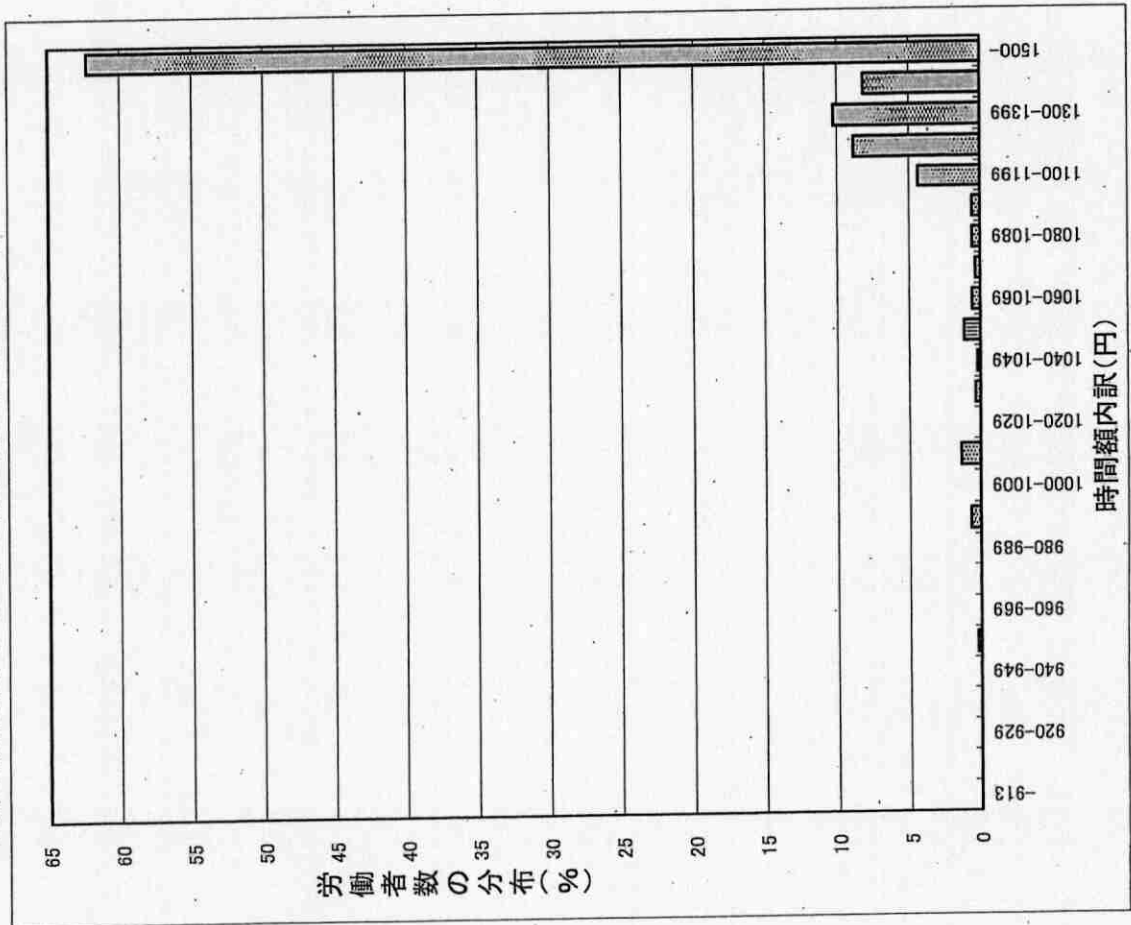
03年
 総括表(2) (産業・就業形態別の賃金階級別、性別年齢別表)

産業：10種火物製造業 就業形態：(全七) 産別適用除外除く

時間当り所定内賃金額 (半年当を除く)	合計		男					女						
	男性計	17歳以下	18~19歳	20~54歳	55~59歳	60~64歳	65歳以上	女性計	17歳以下	18~19歳	20~54歳	55~59歳	60~64歳	65歳以上
計	870	744	8	608	61	68		126			98	20	8	
円														
913														
914														
915														
916														
917														
918														
919														
920														
921														
922														
923														
924														
925														
926														
927														
928														
929														
930														
931														
932														
933														
934														
935														
936														
937														
938														
939														

耐火物製造業

時間額に対するその該当労働者の分布



時間額に対するその該当労働者の累積度数分布

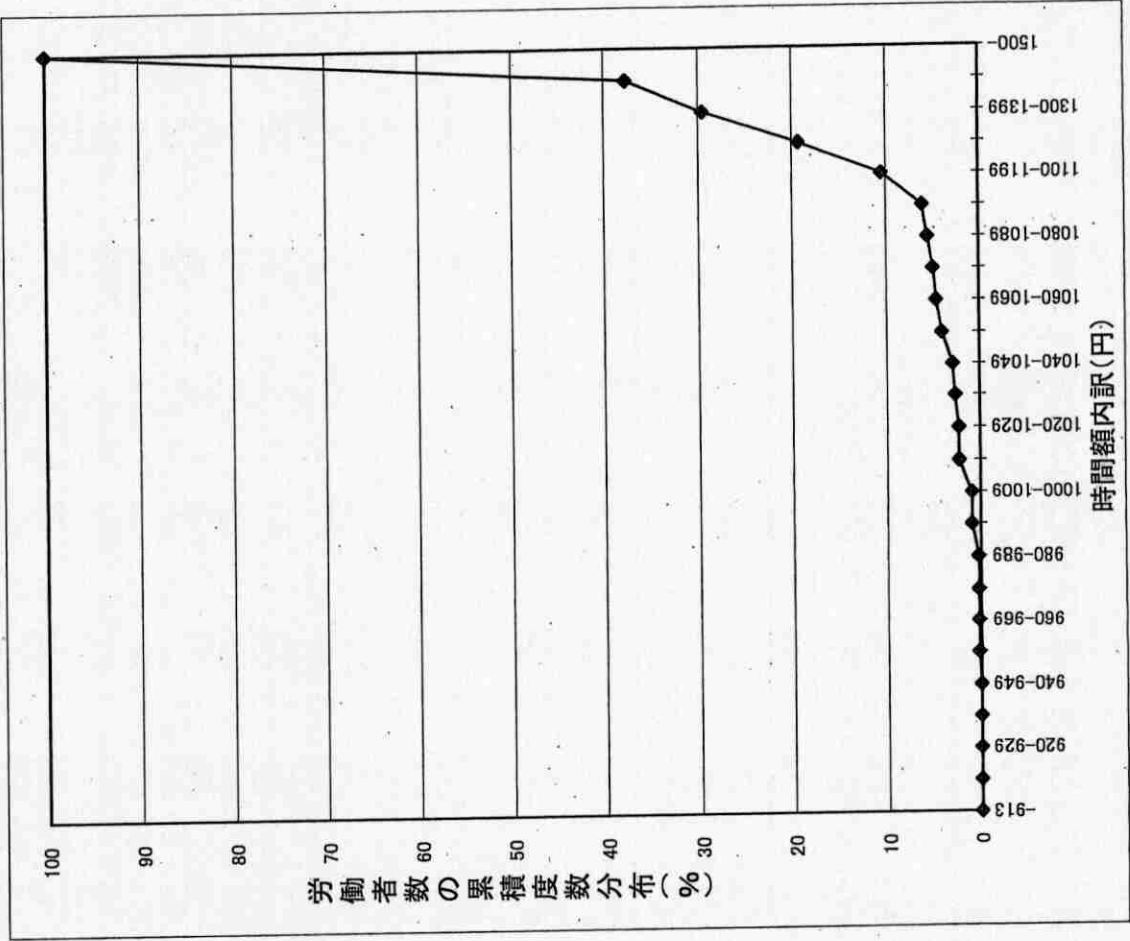




Figure 1: A graph showing the relationship between T and t. The curve starts at the origin and increases rapidly, then levels off.



最低賃金改正の影響率

現行最賃	924
------	-----

耐火物

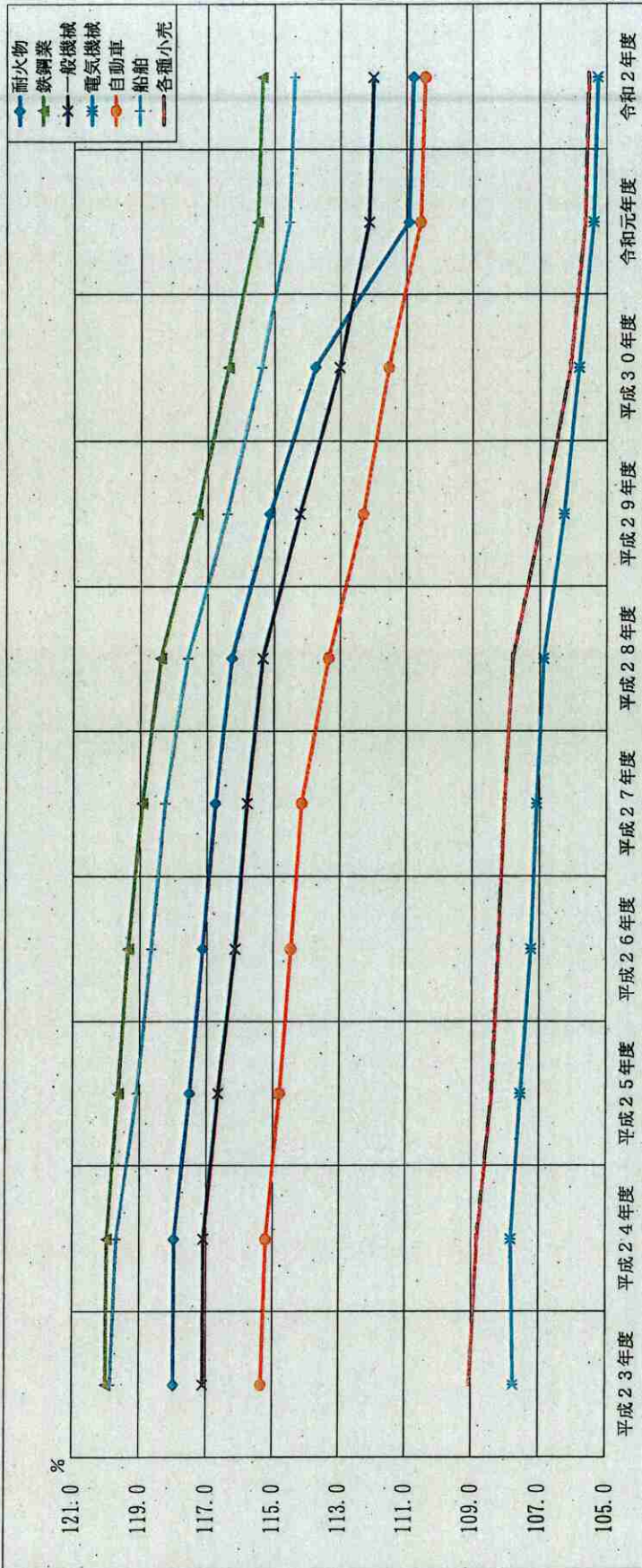
	最賃額	引上率	影響率
現行	924	0.000%	0.00 (未満率)
+1	925	0.108%	0.00
+2	926	0.216%	0.00
+3	927	0.325%	0.00
+4	928	0.433%	0.00
+5	929	0.541%	0.00
+6	930	0.649%	0.00
+7	931	0.758%	0.00
+8	932	0.866%	0.00
+9	933	0.974%	0.00
+10	934	1.082%	0.00
+11	935	1.190%	0.00
+12	936	1.299%	0.00
+13	937	1.407%	0.00
+14	938	1.515%	0.00
+15	939	1.623%	0.00
+16	940	1.732%	0.00
+17	941	1.840%	0.00
+18	942	1.948%	0.00
+19	943	2.056%	0.00
+20	944	2.165%	0.00
+21	945	2.273%	0.00
+22	946	2.381%	0.00
+23	947	2.489%	0.00
+24	948	2.597%	0.00
+25	949	2.706%	0.00
+26	950	2.814%	0.00
+27	951	2.922%	0.00
+28	952	3.030%	0.00
+29	953	3.139%	0.00
+30	954	3.247%	0.00

TABLE 1

Year	1970	1971	1972	1973
1970	100	100	100	100
1971	100	100	100	100
1972	100	100	100	100
1973	100	100	100	100
1974	100	100	100	100
1975	100	100	100	100
1976	100	100	100	100
1977	100	100	100	100
1978	100	100	100	100
1979	100	100	100	100
1980	100	100	100	100
1981	100	100	100	100
1982	100	100	100	100
1983	100	100	100	100
1984	100	100	100	100
1985	100	100	100	100
1986	100	100	100	100
1987	100	100	100	100
1988	100	100	100	100
1989	100	100	100	100
1990	100	100	100	100
1991	100	100	100	100
1992	100	100	100	100
1993	100	100	100	100
1994	100	100	100	100
1995	100	100	100	100
1996	100	100	100	100
1997	100	100	100	100
1998	100	100	100	100
1999	100	100	100	100
2000	100	100	100	100
2001	100	100	100	100
2002	100	100	100	100
2003	100	100	100	100
2004	100	100	100	100
2005	100	100	100	100
2006	100	100	100	100
2007	100	100	100	100
2008	100	100	100	100
2009	100	100	100	100
2010	100	100	100	100
2011	100	100	100	100
2012	100	100	100	100
2013	100	100	100	100
2014	100	100	100	100
2015	100	100	100	100
2016	100	100	100	100
2017	100	100	100	100
2018	100	100	100	100
2019	100	100	100	100
2020	100	100	100	100

岡山県最低賃金と特定最低賃金との比較

(県最賃を100とする各特定最賃の比率)



業種	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
県最賃額	685	100.0	691	100.0	703	100.0	719	100.0	735	100.0	757	100.0	781	100.0	807	100.0	833	100.0	834	100.0
耐火物	808	118.0	815	117.9	826	117.5	842	117.1	858	116.7	880	116.2	899	115.1	918	113.8	924	110.9	924	110.8
鉄鋼業	822	120.0	829	120.0	841	119.6	858	119.3	874	118.9	896	118.4	916	117.3	939	116.4	962	115.5	962	115.3
一般機械	802	117.1	809	117.1	820	116.6	835	116.1	851	115.8	873	115.3	892	114.2	912	113.0	934	112.1	934	112.0
電気機械	738	107.7	745	107.8	756	107.5	771	107.2	787	107.1	809	106.9	830	106.3	854	105.8	878	105.4	878	105.3
自動車	790	115.3	796	115.2	807	114.8	823	114.5	839	114.1	858	113.3	877	112.3	900	111.5	921	110.6	921	110.4
船舶	821	119.9	827	119.7	837	119.1	853	118.6	869	118.2	890	117.6	909	116.4	931	115.4	954	114.5	954	114.4
各種小売	747	109.1	752	108.8	762	108.4	778	108.2	794	108.0	816	107.8	835	106.9	856	106.1	880	105.6	880	105.5

「耐火物製造業」最賃と県最賃の年度別比較一覧

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
地域別最低賃金	時間額 (円)	644	648	658	669	670	683	685	691	703	719	735	757	781	807	833	834
	引上額 (円)	+ 3	+ 4	+ 10	+ 11	+ 1	+ 13	+ 2	+ 6	+ 12	+ 16	+ 16	+ 22	+ 24	+ 26	+ 26	+ 1
	引上率 (%)	0.47	0.62	1.54	1.67	0.15	1.94	0.29	0.88	1.74	2.28	2.23	2.99	3.17	3.33	3.22	0.12
耐火物製造業	時間額 (円)	759	764	776	789	791	804	808	815	826	842	858	880	899	918	924	924
	引上額 (円)	+ 4	+ 5	+ 12	+ 13	+ 2	+ 13	+ 4	+ 7	+ 11	+ 16	+ 16	+ 22	+ 19	+ 19	+ 6	+ 0
	引上率 (%)	0.53	0.66	1.57	1.68	0.25	1.64	0.50	0.87	1.35	1.94	1.90	2.56	2.16	2.11	0.65	0.00
	影響率 (%)	0.29	0.71	0.85	4.02	0.00	0.90	0.86	0.79	0.79	1.76	2.50	0.51	0.36	1.13	0.93	1.50
地域別最賃との引上額差	時間額 (円)	+ 1	+ 1	+ 2	+ 2	+ 1	+ 0	+ 2	+ 1	- 1	+ 0	+ 0	+ 0	- 5	- 7	- 20	- 1

法人企業景気予測調査

(令和3年7~9月期調査)

〈 岡山県の概要 〉

目 次	ページ
〔 調査の要領 〕	1
1. 景況判断	2
2. 企業収益	4
3. 設備投資	6
4. 雇 用	7
5. 参 考 資 料	8

令和3年9月13日

財務省中国財務局
岡山財務事務所

〔調査の要領〕

1. 調査の目的と根拠

企業活動の現状と見通しに対する企業経営者の判断を調査し、地域の経済情勢をよりの確に把握するとともに、財政・経済政策運営上の基礎資料とすることを目的に統計法に基づく一般統計調査として実施。

2. 調査実施時点 令和3年8月15日

3. 調査対象の範囲 岡山県内に所在する資本金、出資金又は基金(以下、資本金という。)1千万円以上(電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は1億円以上)の法人。

4. 調査対象期間(時点)

(1) 判断調査……次の3期について、それぞれ直前の四半期との比較又は期末判断を調査した。
 令和3年 7～9月(または9月末)の現状(見込み)
 令和3年 10～12月(または12月末)の見通し
 令和4年 1～3月(または3月末)の見通し

(2) 計数調査……令和2年度の実績
 令和3年度の実績見込み

5. 調査対象企業数及び回収状況

区分	製造業			非製造業			合計		
	調査対象企業数	回答企業数	回収率(%)	調査対象企業数	回答企業数	回収率(%)	調査対象企業数	回答企業数	回収率(%)
大企業	8	8	100.0	17	15	88.2	25	23	92.0
中堅企業	10	9	90.0	32	31	96.9	42	40	95.2
中小企業	23	21	91.3	70	51	72.9	93	72	77.4
合計	41	38	92.7	119	97	81.5	160	135	84.4

(注)・大企業:資本金10億円以上
 ・中堅企業:資本金1億円以上10億円未満
 ・中小企業:資本金1千万円以上1億円未満

6. 集計方法 判断調査項目、計数調査項目とも単純集計。

7. 調査方法 調査票による郵送又はオンライン調査(自計記入による)。

【参考】

BSI(ビジネス・サーベイ・インデックス)の計算方法

【例】「景況判断」の場合

前期と比べて 「上昇」と回答した企業の構成比:40.0%

「不変」と回答した企業の構成比:25.0%

「下降」と回答した企業の構成比:30.0%

「不明」と回答した企業の構成比:5.0%

景況判断BSI = (「上昇」と回答した企業の構成比 40.0%)
 - (「下降」と回答した企業の構成比 30.0%)
 = 10.0%ポイント(「上昇」超)

1. 景況判断

景況判断BSI

[%ポイント]

		3年4~6月 前回調査	3年7~9月 現状判断	3年10~12月 見通し	4年1~3月 見通し
全産業 (135社)		▲ 30.1	(3.7) ▲11.1	(5.1) 11.9	11.9
業 種 別	製造業 (38社)	▲ 5.1	(15.4) 13.2	(7.7) 28.9	18.4
	非製造業 (97社)	▲ 40.2	(▲1.0) ▲20.6	(4.1) 5.2	9.3
規 模 別	大企業 (23社)	▲ 26.9	(11.5) 17.4	(7.7) 8.7	8.7
	中堅企業 (40社)	▲ 30.8	(28.2) ▲5.0	(17.9) 12.5	25.0
	中小企業 (72社)	▲ 31.0	(▲12.7) ▲23.6	(▲2.8) 12.5	5.6

(注) ()書きは前回(3年4~6月期)調査時の見通し

(1) 現状判断

現状(3年7~9月期)の景況判断BSIは、▲11.1%ポイントと「下降」超幅が縮小している。

業種別

- ・ 製造業は、13.2%ポイントと「上昇」超に転じている。
- ・ 非製造業は、▲20.6%ポイントと「下降」超幅が縮小している。

規模別

- ・ 大企業は、17.4%ポイントと「上昇」超に転じている。
- ・ 中堅企業は、▲5.0%ポイントと「下降」超幅が縮小している。
- ・ 中小企業は、▲23.6%ポイントと「下降」超幅が縮小している。

(2) 先行き見通し

先行きの景況判断BSIは、
翌期(3年10~12月期)は11.9%ポイントと「上昇」超に転じる見通しとなっている。

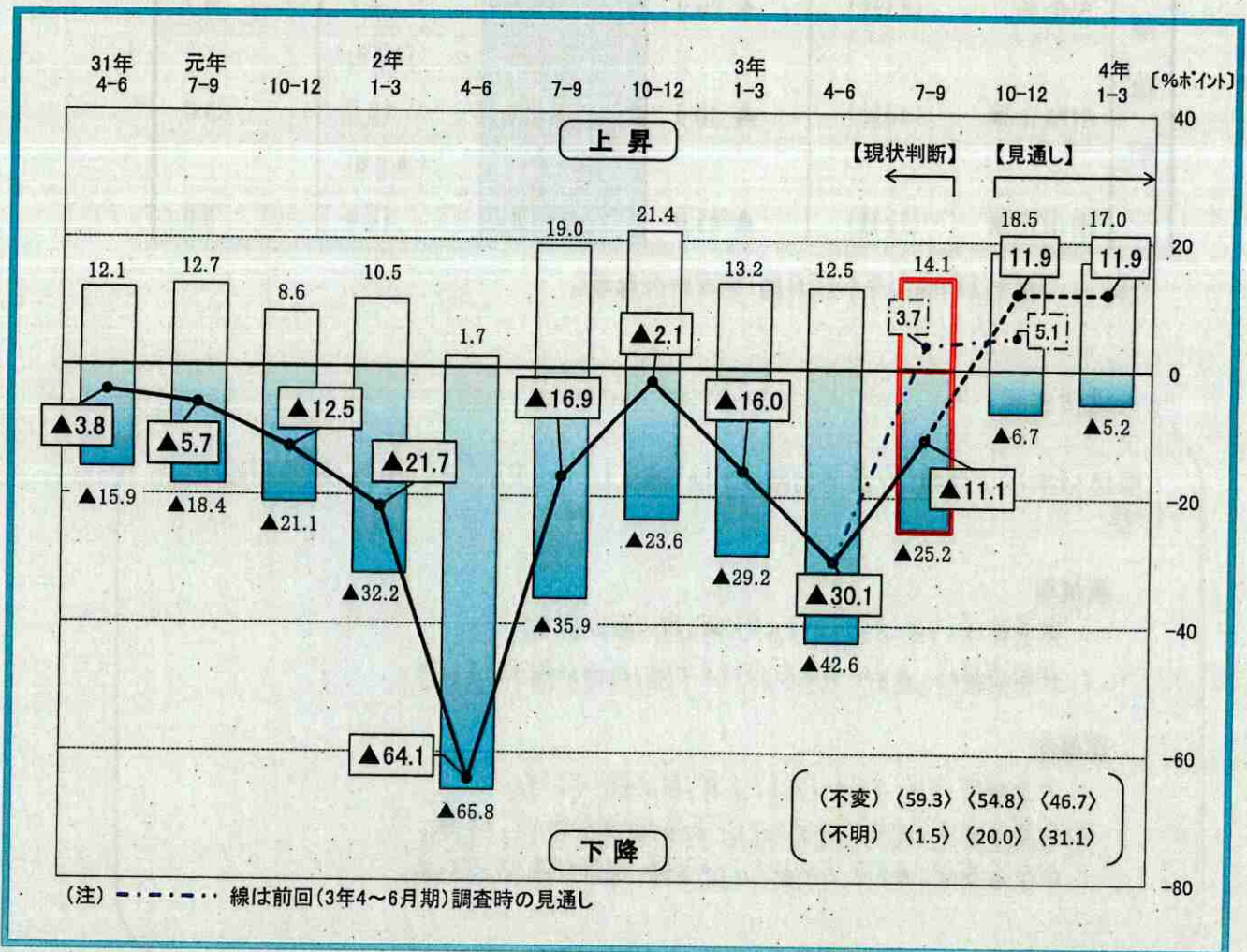
業種別

- ・ 製造業は、28.9%ポイントと「上昇」超幅が拡大する見通しとなっている。
- ・ 非製造業は、5.2%ポイントと「上昇」超に転じる見通しとなっている。

規模別

- ・ 大企業は、8.7%ポイントと「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。
- ・ 中堅企業は、12.5%ポイントと「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- ・ 中小企業は、12.5%ポイントと「上昇」超に転じる見通しとなっている。

翌々期(4年1~3月期)は、「上昇」超で推移する見通しとなっている。



2. 企業収益(電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く)

(1) 売上高...3年度は増収見込み

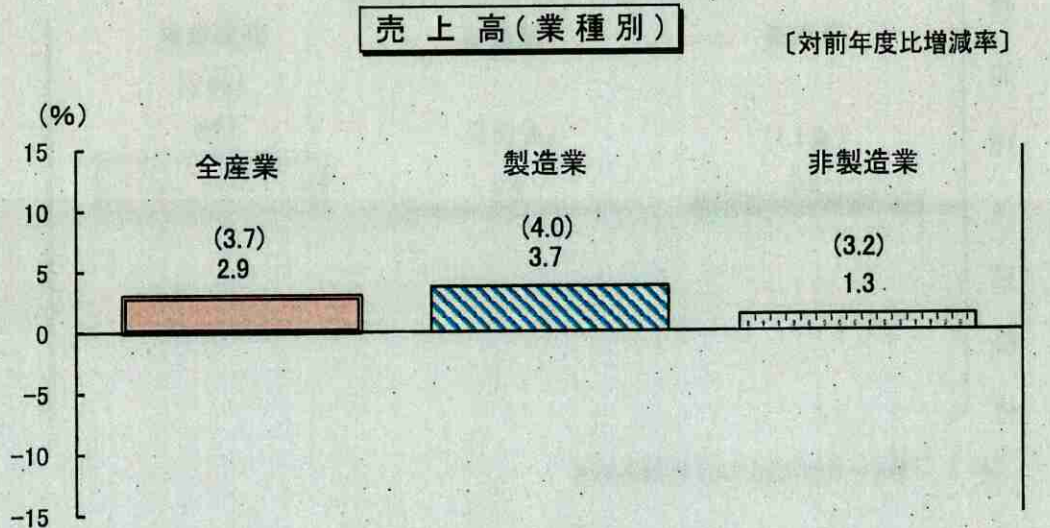
3年度は、前年度比2.9%の増収見込みとなっている。

業種別

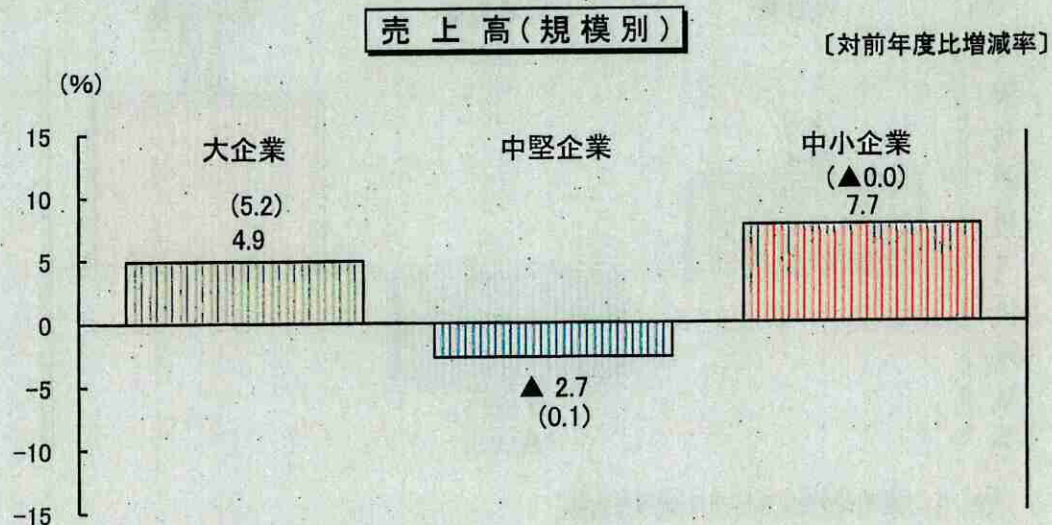
- ・ 製造業は、情報通信機械などが減収となるものの、化学、自動車などが増収となることから、3.7%の増収見込みとなっている。
- ・ 非製造業は、小売などが減収となるものの、宿泊・飲食サービス、卸売などが増収となることから、1.3%の増収見込みとなっている。

規模別

- ・ 大企業、中小企業は増収見込みとなっており、中堅企業は減収見込みとなっている。



(注) ()書きは前回(3年4~6月期)調査結果



(注) ()書きは前回(3年4~6月期)調査結果

(2) 経常利益・・・3年度は増益見込み

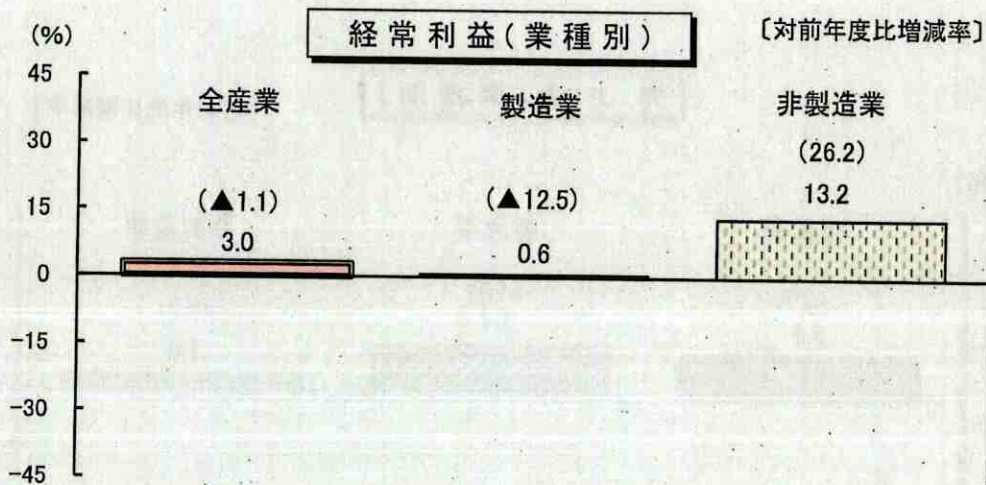
3年度は、前年度比3.0%の増益見込みとなっている。

業種別

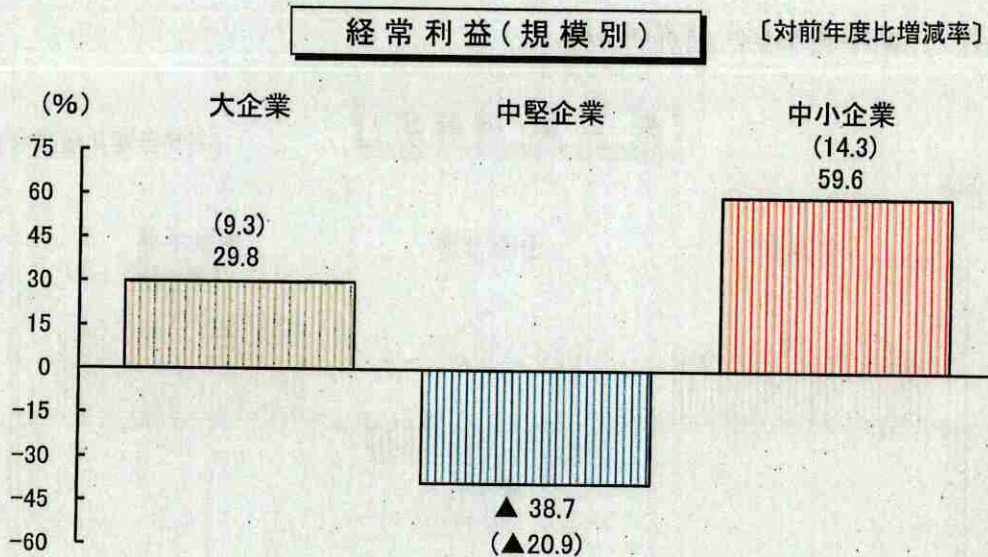
- ・ 製造業は、情報通信機械などが減益となるものの、化学、金属製品などが増益となることから、0.6%の増益見込みとなっている。
- ・ 非製造業は、建設などが減益となるものの、宿泊・飲食サービス、卸売などが増益となることから、13.2%の増益見込みとなっている。

規模別

- ・ 大企業、中小企業は増益見込み、中堅企業は減益見込みとなっている。



(注) ()書きは前回(3年4~6月期)調査結果



(注) ()書きは前回(3年4~6月期)調査結果

3. 設備投資 … 3年度は減少見込み

3年度の設備投資計画は、前年度比▲14.4%の減少見込みとなっている。

業種別

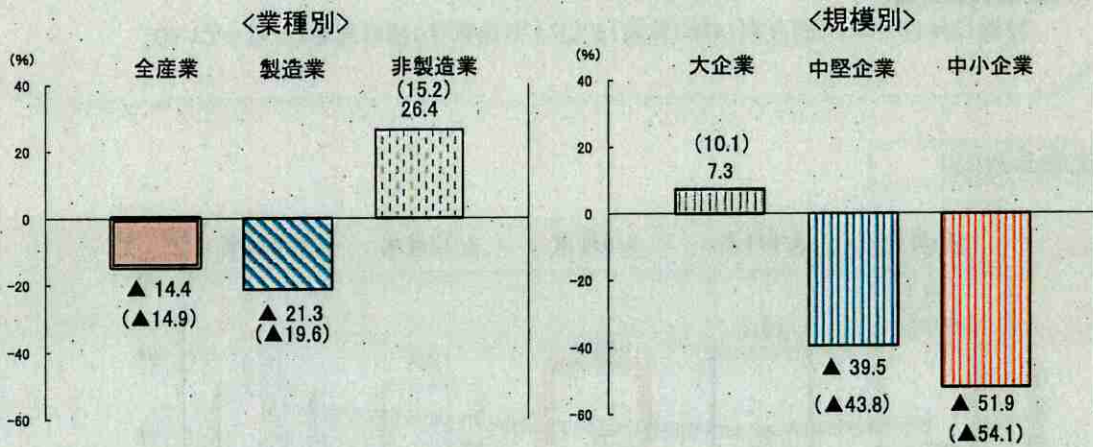
- ・ 製造業は、鉄鋼などが増加するものの、情報通信機械、自動車などが減少することから、▲21.3%の減少見込みとなっている。
- ・ 非製造業は、情報通信が減少するものの、運輸・郵便、金融・保険などが増加することから、26.4%の増加見込みとなっている。

規模別

- ・ 大企業は増加見込みとなっており、中堅企業、中小企業は減少見込みとなっている。

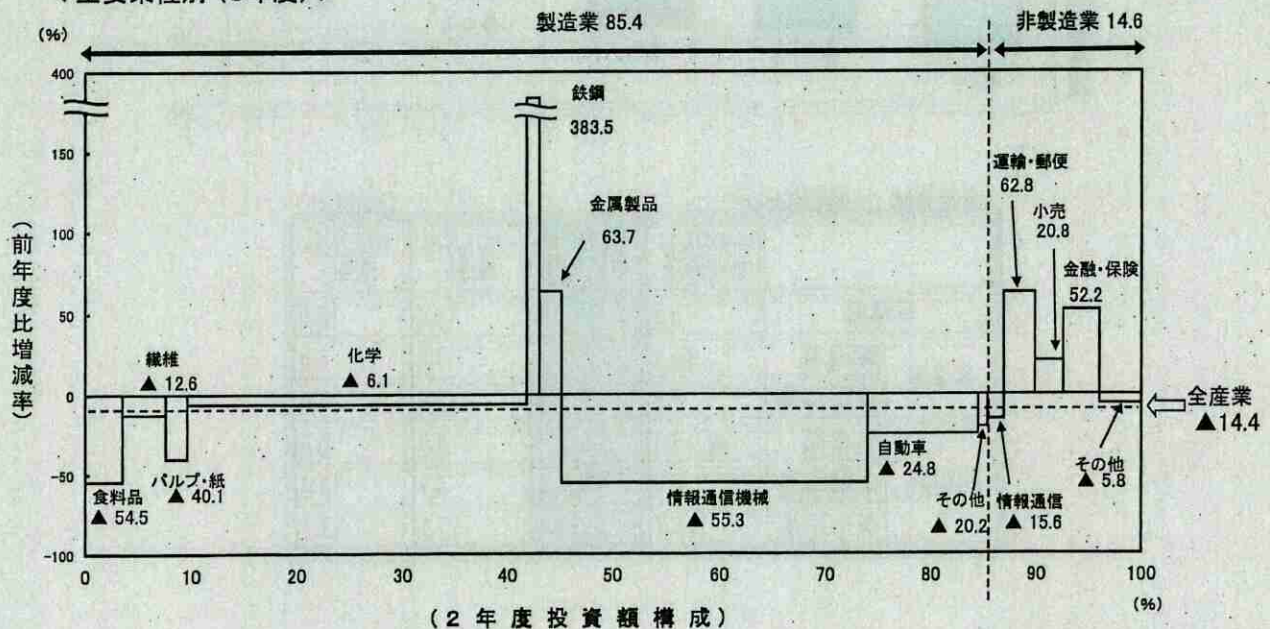
設備投資計画

[対前年度比:%]



(注) ()書きは前回(3年4~6月期)調査結果

<主要業種別(3年度)>



4. 雇用状況

従業員数・・・引き続き「不足気味」超

(1) 現状判断

現状(3年9月末)の従業員BSIは、9.8%ポイントと前期(3年6月末)に比べ「不足気味」超幅が拡大している。

業種別

- ・製造業は、13.2%ポイントと「不足気味」超幅が縮小している。
- ・非製造業は、8.5%ポイントと「不足気味」超幅が拡大している。

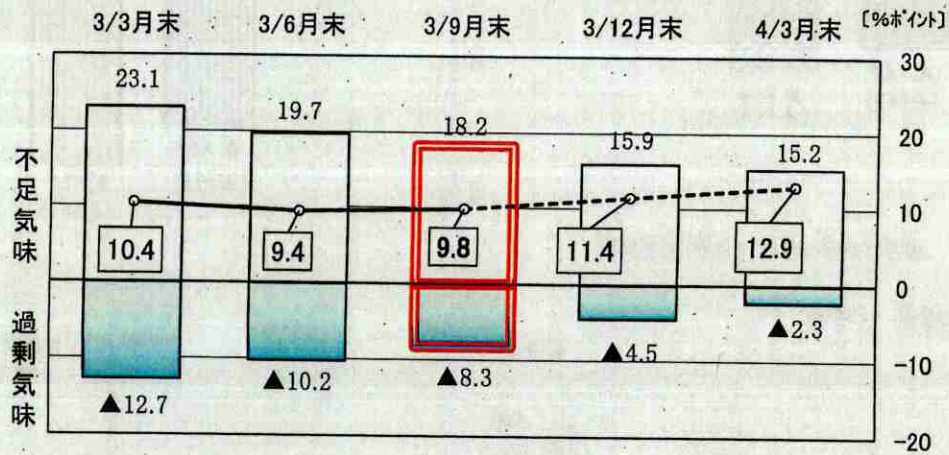
規模別

- ・大企業は、8.7%ポイントと「不足気味」超に転じている。
- ・中堅企業は、▲2.6%ポイントと「過剰気味」超に転じている。
- ・中小企業は、17.1%ポイントと「不足気味」超幅が縮小している。

(2) 先行き見通し

翌期(3年12月末)、翌々期(4年3月末)ともに「不足気味」超の見通しとなっている。

従業員数BSI



【不足気味 — 過剰気味】

【%ポイント】

		3年6月末 前回調査	3年9月末 現状判断	3年12月末 見通し	4年3月末 見通し
全産業		9.4	9.8	11.4	12.9
業種別	製造業	15.4	13.2	7.9	2.6
	非製造業	6.8	8.5	12.8	17.0
規模別	大企業	▲13.0	8.7	4.3	0.0
	中堅企業	5.3	▲2.6	5.1	12.8
	中小企業	19.7	17.1	17.1	17.1

5. 参考資料

(1) 判断調査BSI表(原数値)

(単位: %ポイント)

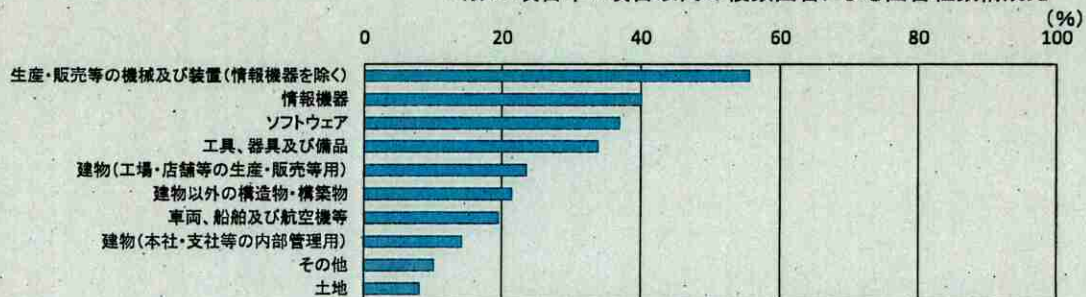
		全 産 業			製 造 業			非 製 造 業		
		3年 7~9	10~12	4年 1~3	3年 7~9	10~12	4年 1~3	3年 7~9	10~12	4年 1~3
① 各社の景況 (「上昇」-「下降」)	大企業	17.4	8.7	8.7	62.5	37.5	12.5	▲ 6.7	▲ 6.7	6.7
	中堅企業	▲ 5.0	12.5	25.0	22.2	22.2	33.3	▲ 12.9	9.7	22.6
	中小企業	▲ 23.6	12.5	5.6	▲ 9.5	28.6	14.3	▲ 29.4	5.9	2.0
	全規模合計	▲ 11.1	11.9	11.9	13.2	28.9	18.4	▲ 20.6	5.2	9.3
② ※ 従業員数 (「不足気味」-「過剰気味」)	大企業	8.7	4.3	0.0	12.5	12.5	0.0	6.7	0.0	0.0
	中堅企業	▲ 2.6	5.1	12.8	0.0	0.0	11.1	▲ 3.3	6.7	13.3
	中小企業	17.1	17.1	17.1	19.0	9.5	0.0	16.3	20.4	24.5
	全規模合計	9.8	11.4	12.9	13.2	7.9	2.6	8.5	12.8	17.0

(注)・ BSI(例) 景況「上昇」と回答した企業の構成比(%) - 「下降」と回答した企業の構成比(%)

・ ※は期末判断項目

(2) 今年度における設備投資の対象

※10項目中3項目以内の複数回答による回答社数構成比



(3) 大規模災害や感染症等による事業中断リスクに備えた取組

※10項目中3項目以内の複数回答による回答社数構成比

